

第10回 下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会 議 事 概 要

日 時 : 平成29年6月5日(月) 15:00~17:00
場 所 : 公益社団法人日本下水道協会 5階 会議室1~3
出席団体 : 配布座席表ご参照
資 料 : 配布資料ご参照(資料1~7)

議事

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 議題
 - (1) 下水道分野におけるPPP/PFIを含む政府の最新動向
 - (2) コンセッションの進捗状況や課題等について(三浦市)
 - (3) 管路事業における官民連携について(堺市・柏市・富士市)
 - (4) その他
4. 閉会

【主な意見】

<コンセッションの進捗状況や課題等について(三浦市)>

- 管路を含む市内全域をコンセッション事業にて実施する場合は、地元の管路に関する事業者が関与する可能性がある。
- コンセッション事業を実施する場合、雨水関連業務において、委託有無の慎重な検討が必要である。また委託の有無に関わらず、同一建物内にある施設(雨水・汚水)の切り分けや一般会計の繰り入れなどの整理が課題となる。

<管路事業における官民連携について(堺市・柏市・富士市)>

- 短い期間での委託を繰り返す場合、次回委託時に入札希望者が減少する可能性があり、委託範囲の拡大などを検討することも考えられる。
- これまで市で蓄積された技術・ノウハウの継承を行うため、全ての管路の維持管理を一括で発注するのではなく、一部を直営で行うことも考えられる。
- 一部を直営、一部を民間委託で維持管理を行い、官民で切磋琢磨することで、維持管理能力や質の向上が期待される。
- 包括的民間委託においては、効率性やワンストップ化等の責任所在の明確化を求めるには統合的に行うことが望ましいが、入札者数を増やすためには、委託範囲を切り分けた分割的な発注を求められる実態があり、どちらが有益か議論が必要。

<その他>

- 維持管理体制が脆弱化していくなかで、1都市だけでの維持管理は困難になると考えられ、民間委託の検討・実施に向けて、地域間で連携を検討する必要がある。